

安来市における森林環境譲与税の活用状況について(令和6年度末現在)

■これまでの活用状況

区分	令和元年度～ 令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額(円)	101,783,300	47,146,000	148,929,300	80.1%	林業人材育成拠点の整備、林業DXの 推進、林業産官学連携などの実施
譲与額(円)	138,674,000	47,146,000	185,820,000		

■令和6年度における具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費(円)		事業内容
			うち森林環境譲与税	
森林整備	森林経営管理制度の推進	1,686,300	1,686,300	市町村の行う新たな森林管理システム推進のため島根県が設置する支援組織に対して事務委託を行った。
	森林ビジョンの策定	8,985,680	8,985,680	「森林の多面的機能の発揮」と「持続可能な林業経営の確立」の両立に向け、長期的な森林整備の方向性及び森林・林業・木材産業の望ましい将来を明らかにすることを目的として、「森林ビジョン(仮称)」を策定を進めた。【R7年度へ繰越】
	林業DXの推進	1,850,000	850,000	市内全域における航空レーザ計測により森林情報をデジタル化し、林業のデジタル・トランスフォーメーション(林業DX)の推進を図った。
	地域林政アドバイザー	4,000,000	2,000,000	島根大学の学術技術指導制度を活用して、地域林政全般において大学の専門的な知見を活用した。
	林業事業体等への補助	15,128,000	15,128,000	林業事業体による高性能林業機械や路網の整備、人材育成その他森林整備の推進に係る補助金交付を行った。
	市行造林地の保育	8,626,878	1,303,248	分収造林地及び市有林での造林保育施策を行った。
	林道災害応急工事	631,400	631,400	豪雨災害による林道法面崩壊部の応急に修繕し、機能回復を図った。
人材育成	林業人材育成拠点の整備	61,376,321	15,176,321	市内の私有林を市有林として取得し、林業人材育成拠点として整備するための基本設計を行った。
木材利用	市産木材利用への補助	1,113,000	1,113,000	市産木材を使用した住宅の新築等に対して補助を行った。
	基金積立	272,051	272,051	安来市森林環境整備基金への積立金(R7年度予算で活用予定)
	合計	103,669,630	47,146,000	

■今後の実施計画

①林業人材育成拠点整備事業

林業従事者の育成並びに技術力の向上、林業の担い手確保のため、新たに取得した市内山林において林業人材育成拠点の整備を進めており、令和8年度からの供用開始に向け、令和7年度に進入路の道路改良及び駐車場設置等の工事を行っています。

・令和7年度 工事費 87,515千円
 (うち森林環境譲与税 8,815千円)

②林業人材育成拠点運営事業

林業の担い手確保・育成を促進するため、林業人材育成拠点を活用した林業技能講習や森林教室等の開催を行うほか、拠点内でのモデル林整備を通じた林業事業者の総合的な人材育成を図ります。

・令和8年度 事業費見込額 6,500千円
 (うち森林環境譲与税 6,500千円)



③林業人材確保・定着・育成支援事業(補助事業)

林業の人材確保・定着・育成を支援するため、林業事業者における労働安全対策、雇用継続、技能者育成等に対する支援を新たに展開して、林業労働力の持続的な確保と育成を図ります。

・令和8年度 事業費見込額:5,000千円
 (うち森林環境譲与税 5,000千円)

【補助メニュー(予定)】

事業種目	補助対象経費	補助率
労働安全対策支援	安全装備品等の購入費	4/5
雇用継続支援	現場作業員の社会保険料等の事業主負担分	1/2
技能者育成支援	雇用者の資格取得や技能習得に係る経費	定額

④林業産官学連携事業

島根大学、米子工業高等専門学校、しまね東部森林組合その他民間企業との連携により、森林整備に関する研究や、木材流通及び木材用途拡大に関する研究及び実証を行います。

・令和7年度 事業費:6,700千円
 (うち森林環境譲与税 4,000千円)

⑤針広混交造林事業(補助事業)

生物多様性や土砂流出防止などの公益的機能を高める効果が期待される針広混交林の育成を推進するため、針広混交植栽による人工造林とその育成を行う試験的な取組について、定額で補助します。

・令和7年度事業予定:約2.0ha
 補助見込額 2,400千円
 (うち森林環境譲与税 2,400千円)

